

ダニ媒介感染症の予防策

マダニに咬まれないことが最大の予防策となります。マダニの生息域(森林・草むら・畑など)に入る際には長袖・長ズボンを着用するなどし、腕・足・首など肌の露出を少なくしましょう。マダニが上着や作業着に付着していることがありますので、着衣を屋内に持ち込む際には注意が必要です。

忌避剤の使用により、マダニに咬まれるリスクを減らすことができます。

野外活動後はシャワーや入浴などで、マダニが身体に付着していないか確認しましょう。マダニに咬まれた場合には、自分で無理に取ろうとせず医療機関で処置してもらいましょう。マダニに咬まれた後、数週間は体調の変化に注意し、発熱などの症状が見られた場合には医療機関で診察を受け、マダニに咬まれたこと(時期・地域)や旅行歴・渡航歴などを医師に伝えてください。

併せて、下記リンク先もご参考にしてください。